



体育施設の施設・大規模改修の予算措置は？
 こんどう 彰治(政新クラブ)



問／令和4年度に競技団体と体育施設の施設の大規模改修等について勉強会を数回行ったが、令和5年度予算に反映されなかった理由は何か。

答／第3次財政計画で、投資的経費の各種スポーツ施設の整備に関し、規模や財源を含む整備手法はさらに検討を行うとして計画への掲載は見送った。計画期間中に実施しないということではなく、財源状況を勘案した上での予算措置も考えられることから、引き続き勉強会を開催し、検討していきたい。

問／勉強会に参加していない競技団体から要望があった場合の検討は。

答／施設の緊急性や必要性、建設費用の算定など、様々な検討を要するため、現財政計画への掲載は困難であり、次の計画改定に向けた検討となる。



民生委員の現状と課題は

問／当市における民生委員の現状と課題は。

答／民生委員・児童委員の定数は、県条例により437人と定められている。令和4年12月の改選時点で欠員が21人となっていたが、令和5年6月1日時点の欠員は15人となっている。今後とも、民生委員児童委員協議会連合会と連携を図り、委員が活動しやすい環境整備に努める。



学校給食での上越産農産物の使用率向上を！
 安田 佳世(久比岐野)



問／小中学校の学校給食における地産地消の推進の状況はどうか。

答／令和3年度は18%だったが、令和4年度は天候の影響による野菜の生育不良などの要因から12・6%だった。第4次食育推進計画では、令和8年度までに20%とする目標を定めている。

問／上越産食材使用率向上に向けた取り組みは。

答／令和5年度は、学校給食用野菜の生産者の裾野を広げるため、参入しやすい環境づくりとして、関係者との情報交換会を実施する。使用率向上に向けて、市が率先して主導しながら、関係者と連携して取り組んでいきたい。

上越市保育園の適正配置について

問／上越市保育園の適正配置等に係る計画(第4期)の策定に向けた検討状況はどうか。

答／これまでの計画に基づく取り組みから明らかになった課題を整理・検証し、「安心して子育てができ、持続可能な保育環境を整える」ことを基本方針として、統合・再編と民間移管の手法により推進していく。対象となる園の保護者や地域の皆さんと意見交換等を実施するとともに、令和5年中を目途に第4期計画を策定する。児童数の減少や保育ニーズの多様化など、保育を取り巻く環境が大きく変化しているが、持続可能な保育環境を維持するため取り組んでいく。



ゼロカーボンシティのまちを目指して
 高山 ゆう子(みらい)



問／開園から20年のくわどり市民の森は、管理棟の太陽光発電設備が故障し、6年前から発電機で電源を賄っている。騒音がひどく指定管理者は改修を要望しているが、改修しないのか。

答／費用面から使用してきた。短期的には防音パネルの設置検討、中長期的にはポータブル蓄電池の活用など、環境に配慮した電源を研究していく。



問／発電機燃料はガソリンで、貯蔵量によって届出が必要。危険性が高いが、認識は。

答／危険物の認識はあるが、貯蔵量や届出の有無については不明のため確認する。(※)

問／当市はゼロカーボンシティを宣言しており、このような発電機の使い方は現実的でない。早急に太陽光発電設備を改修すべきではないか。

答／最新機器の研究を行い、素早く対応したい。※確認の結果、届出が必要な貯蔵量の容器を保有していたが、届出をしていなかったため、消防署の検査を受検予定である旨の回答があった。

子育て全国一の母子サービスを！



問／母子サービスは、充実しているか。子育てを応援する民間法人と連携して、より使いやすくなるよう、見直しも必要では。

答／官民連携の下、安心して出産・子育てができるよう、必要な支援に取り組んでいきたい。